

会長	常理	事務	監事	役員	職員	係
(1)	第23号	田口				

築山社福協だより

第 23 号

築山地区社会福祉協議会

会長 高 桑 博

築山地区社会福祉協議会会務要占報告

平成十年度

- 四月二十五日 当社協定期総会を築山児童館で開催し、平成九年度事業報告、同決算、平成十年度事業計画、同予算及び役員改選について協議決定した。
- 五月一日、日赤社員増強運動の推進。
- 五月十一日 市塗装研究会の皆さんの奉仕により、3軒の屋根塗装をしていただいた。
- 五月二十二日 地区内福祉関係諸団体育成のため、助成金を贈った。
- 七月二十五日 役員会を開催し、敬老会・地域福祉活動について協議した。
- 九月十六日 恒例の地区敬老会を榎山コミセンで開催した。対象者 一、一一四名 出席者 一六九名
- 式典終了後、築山小学校児童(五十五名)の演技、竹泉会の民謡、宝扇都瑞喜社中の新日本舞踊で賑った。欠席者には、寿ごろく枕を贈呈した。
- 十月一日、共同募金(赤い羽根)運動の推進協力。
- 十一月四日 福祉先進地鷹巣町で現地研修会を実施した。

参加者 七十八名

- 十一月二十七日 七十五才以上のひとり暮らし老人及びねたきり老人百八十五名に石鹸を持参して、安否確認を兼ねた激励訪問を行った。
- 十一月二十八日 秋田市六地区社協交流研修会に出席する。
- 十二月一日、歳末助け合い募金運動の推進。
- 十二月二十五日 母子・父子家庭百四十七名にお歳暮を贈り、激励訪問した。

社協年会費及び各種募金実績

- ◎年会費 三万七三〇〇円
- ◎日赤社員増強運動 一七二万八二五〇円
- ◎共同募金(赤い羽根) 二五六万三八〇〇円
- ◎歳末たすけあい募金 五五万七三〇〇円

以上の募金や募金活動については、各町内の会長さんや民生委員のご協力をいただき、更には皆さんの深いご理解があったことに衷心より感謝致します。

善意のご寄付

(平成十年四月一日 ~ 平成十年十一月三十日)

- ◎香典返し
 - ・ 榎山川口境 菊地 ヤス様 五万円 (亡夫 清さん)
 - ・ 南通宮田 富樫 栄一様 十万円 (亡父重次郎さん)
 - ・ 南通築地 高橋 ヤス様 十万円 (亡夫 金治さん)
 - ・ 南通宮田 永井 圭一様 五万円 (亡父初太郎さん)
 - ・ 榎山川口境 佐藤 由松様 二十万円 (亡妻 和子さん)
 - ・ 榎山石塚谷地 小武海西子様 十万円 (亡夫 謹五さん)
- ◎篤志
 - ・ 一万円 東海林正隆様 南部公民館まつり 実行委員会様
 - ・ 五千円 榎山地区コミセン サークル協議会様 広島ふとん店様 高桑 博様 吉田喜久次様

合同講演会の開催

地区市民憲章推進協議会と保健推進委員会との合同講演会を十一月

- ◆ 連絡先(事務局) 樋渡 久孝 神田 武
- ◆ 編集委員 加藤 三夫 渡辺 一男 黒崎 寅雄 神田 武 樋渡 久孝
- ◆ 編集後記
 - ◇ 四月に新役員が決まりましたが、新メンバーでの「社福協だより」をお届けいたします。と、かく暗い世相が、新聞・テレビで報道される昨今ですが、皆さんで元氣を出し合って前向きに生きていくための「社福協だより」でありますようつとめてまいります。
 - ◇ 介護保険制度を契機として福祉についての関心が高まっています。皆様のご意見を是非お寄せくださいますようお願いいたします。



築山地区社会福祉協議会 会長 高桑 博

初春を迎えて

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。昨年は金融不安、毒入りカレー事件、防衛庁汚職事件等いやなことが多かった一年でした。一日も早い景気の回復と心の貧困から生ずる事件が少しでもなくなるよう祈りたいものです。

十二支の中でも「うさぎ」は清純で、やさしく心あたたまる感じのする動物で、無力であり誰かが保護してやらねばと思う気持ちがあります。なんとなく福祉の年にふさわしい卯年でありたいと願います。

平成十二年度から開始される介護保険制度や、社会福祉制度全般の見直しが行なわれており「個人の自立支援」「利用者による選択の尊重」「サービスの効率化」等を柱とする社会福祉の基礎構造改革への取組みが進められております。福祉の大

転換期を迎えることとなります。当築山地区も上表の通り秋田市の中でも少子高齢化が進んでいる地区であります。

「だれでも安心して暮らせる福祉の地域づくり」の実現をめざしてまいりました。幸い他地区に、さきがけて築山地区では各町内会に福祉協力員がおります。また財政基盤の確立の重要性から全戸会員制の導入が行なわれておりますが、「みんなの福祉をみんなの手で」ということから更なる努力が必要になってくるものと思っております。

介護制度といっても制度には人情がありません。人の心があって介護はなりたつのです。携帯電話をもった女子学生が歩きながら「いまどこにいるの」「駅にいる」こんな会話は必要ないのです。だが人と人とのつながりを持ちたいのです。心の中に砂漠が多く出来すぎる世の中かもしれません。潤いを求めて交わりの会話なのかもしれません。私達の寝たきり老人や一人暮らし老人に対する友愛訪問活動も交わりの中で少しでも心の中に潤いを与えたいものです。

早いもので昨年四月の総会に於いて皆様のご推薦により東海林会長の後任として、はからずも私とその重責を担うことになりました。前会長の長年のご努力に心から感謝申し上げます。これまでの実績を基盤として更なる充実発展に非力ではありますが努力して参りたいと思っております。地区各位のご支援とご協力を心からお願いと共にご共にご御指導に深く感謝申し上げます。



築山地区社福協新役員

顧問	東海林 正隆
会長	高 桑 博
副会長	村上金治 渡辺一男 佐藤連治 瀬川美代
監事	加藤三夫 大原由利子
事務局長	樋渡久孝
会計	神田 武(事務局次長)
常任理事	鈴木 監三郎 清治 清作 野尻 滋 松橋博之 佐藤 喜一郎 佐々木 洋吉 妹尾 克利
理事	松本 秋次 朝倉 満子 石塚 二郎 小柳 寛 高橋 秀雄 佐野 正和 黒崎 寅雄 安藤 浩 斎藤 齊 佐々木 ミエ 菅原 良子 菊地 登喜子 湊 睦子 岡田 柳子 碓井 則子

(理事以上)

築山地区民生児童委員改選 (平成10年12月1日辞令交付)

皆さん、何かご相談がありましたら、下記の方にご連絡下さい。

氏名	担当区域(町・字名)	氏名	担当区域(町・字名)
村上 金治	石塚町	加藤 三夫	南通亀の町・榎山本町
佐藤喜一郎	愛宕下・牛島東三丁目		南中町
佐々木洋吉	共和町・榎山本町	荒澤 文夫	榎山本町・南中町
	南中町・川口境	安藤 浩	南通宮田・佐竹町
瀬川 美代	南通宮田		寺小路・古川新町
佐々木ミエ	登町・南中町		南新町上丁
樋渡 久孝	太田町	古家 郁子	榎山本町・南新町上丁
野尻 滋	榎山本町・南通みその町		南新町下丁
北條 晃	南通宮田・榎山大元町	田中小夜子	登町・南中町
松橋 博之	南中町	原 香子	金照町・城南町
吉田 孝導	南通宮田	佐々木正次	金照町・城南町
菅原 良子	榎山本町		石塚谷地・愛宕下
湊 睦子	南通宮田・南通築地	菊地登喜子	登町・川口境
宮澤 惟安	南通みその町・南通築地	小野 芳朗	川口境・共和町
	佐竹町	幸野谷静子	築山地区全域(主任児童委員)
石川 朝子	南通亀の町・佐竹町	佐々木ユリ子	築山地区全域(主任児童委員)
	南通みその町・南通築地		

会長・事務局長勇退

—長い間本当にご苦労様でした—



前会長

東海林 正隆

長き地域福祉活動への感謝をこめて

年の歳もせまった十二月中頃高桑会長がわが家にお見えになり福祉活動の大切さと奥深さなど語りながら計画された事業も順調に進んでおられるお話しをうけ、会長始め役員の方々にご苦労さんの言葉を送りながら喜びあいました。私も若き頃二代目会長の長門さんから時代の進歩と発展にともない一番大切なことは福祉の心と奉仕活動の必要性をとかれ、いささか関心をもつようになりました。その後残念ながら長門会長が亡くなり渡辺清助さん竹下チエさん始め有志の方から再三に渡り会長就任を要請され若輩の身をかえりみず、会長職を引きうけ退任まで、三十年の長い間地元のみならずのご協力ご鞭撻を頂きながら務めさせていただきました。就任した昭和四十年頃は敬老会や遺族会、赤い羽根募金歳末助け合い運動などでした。その後高度成長にともない地域福祉への理解と奉仕が推進され老人クラブの結成、児童の健全育成、一人暮らしへの慰安訪問更に関係団体への補助や研修会、事務局の強化など今や福祉の「まちづくり」運動となり地域の和と輪が広がりました。そして去る平成八年七月明るい雰囲気の中、石川市長、永井市社協会長始めご来賓のご出席を賜り多数の皆さんと共に意義ある創立四十周年式典が開催され共に喜びながら先輩功労者に感謝の意を表すことが出来ましたことを、なによりも幸せと思っております。今後住民の一人として地域社会福祉活動に参画出来まことを有難くもあり大きな誇りと思っております。ここに新たに役員始め地域のみなさんに感謝しつつ今後とも我が築山社協こそ、ますます充実発展されますことを心からお祈りいたしております。



前事務局長

鈴木 監三郎

私が当地区社会福祉協議会事務局長として就任いたしましたから、ちょうど七年の歳月がすぎました。その間、世の中の情勢はいろいろと変化し、特に高齢者は年々増加してまいりました。築山学区では敬老会該当者は毎年三十名から五十名程度増員となっております。それに伴いひとり暮らし老人も各町内でも多くなりつつあり、これに対処するため福祉活動は益々重要であります。このような時に退任いたしましたことは誠に心苦しい限りではありませんが、新しい時代に新しい人材を必要とします。老いた身がいたずらに席をけがしている場合ではないと信じ、離れることと致しました。私のわがままをお許し下さい。幸い後継者として最も適任な新進気鋭の樋渡氏を得ましたことを心から喜ぶものであります。

福祉活動は、役員・事務局のみでは何ひとつできません。地域住民の協力あるがゆえに、特に地域の身近な相談相手として活動している民生委員・児童委員と地区内七十の町内会長さんおよび福祉協力員の絶大なるご協力の賜ものと、感謝にたえません。本誌をかりてひとこと感謝の敬意を表します。

過去の事柄について二、三を掲載します。思い出して戴ければ幸いです。それは平成五年の末に「ふれあいのまちづくり事業」の一環である地域ネットワークづくりを進めたこと、又それと並行して全戸加入・全戸会費制の為の規約の全面改正の実施、その後「ふれあいのまちづくり事業」モデル地域による各種活動と福祉協力員の選定等多忙な日々でありました。平成八年の地区社会福祉協議会創立四十周年記念行事も無事完了致しましたことを、関係各位に厚くお礼申し上げます。

築山社福協だより

第 23 号

築山地区社会福祉協議会

会長 高 桑 博



初春を迎えて

築山地区社会福祉協議会

会長 高 桑 博



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。昨年は金融不安、毒入りカレー事件、防衛庁汚職事件等いやなことが多かった一年でした。一日も早い景気の回復と心の貧困から生ずる事件が少なくなるよう祈りたいものです。

十二支の中でも「うさぎ」は清純で、やさしく心あたたまる感じのする動物で、無力であり誰かが保護してやらねばと思う気持ちがあります。なんとなく福祉の年にふさわしい卯年でありたいと願います。

平成十二年度から開始される介護保険制度や、社会福祉制度全般の見直しが行なわれており「個人の自立支援」「利用者による選択の尊重」「サービスの効率化」等を柱とする社会福祉の基礎構造改革への取組みが進められております。福祉の大

築山地区少子高齢化の状況 (平成2年と9年)

項目 年度 地区	年少人口 (0~14才)		老年人口 (65才以上)	
	平成2年	平成9年	平成2年	平成9年
秋田市	18.4%	15.4%	11.4%	15.8%
築山地区	16.7%	13.9%	15.6%	20.2%

転換期を迎えることとなります。当築山地区も上表の通り秋田市の中でも少子高齢化が進んでいる地区であります。「だれでも安心して暮らせる福祉の地域づくり」の実現をめざしてまいりました。幸い他地区に、さきがけて築山地区では各町内会に福祉協力員がおります。また財政基盤の確立の重要性から全戸会員制の導入が行なわれておりますが、「みんなの福祉をみんなの手で」ということから更なる努力が必要になってくるものと思っております。

介護制度といっても制度には人情がありません。人の心があって介護はなりたつのです。

携帯電話をもった女子学生が歩きながら「いまどこにいるの」「駅にいる」こんな会話は必要ないのです。だが人と人とのつながりを持ちたいのです。心の中に砂漠が多く出来すぎる世の中かもしれません。潤いを求めて交わりの会話なのかもしれません。私達の寝たきり老人や一人暮らし老人に対する友愛訪問活動も交わりの中で少しでも心の中に潤いを与えたいものです。

早いもので昨年四月の総会に於いて皆様のご推薦により東海林会長の後任として、はからずも私がその重責を担うことになりました。前会長の長年のご努力に心から感謝申し上げます。これまでの実績を基盤として更なる充実発展に非力ではありますが努力して参りたいと思っております。地区各位のご支援とご協力を心からお願いと共にご日頃の御指導に深く感謝申し上げます。

築山地区社会福祉協議会会務要占報告

平成十年度

- 四月二十五日 当社協定期総会を築山児童館で開催し、平成九年度事業報告、同決算、平成十年度事業計画、同予算及び役員改選について協議決定した。
- 五月一日、日赤社員増強運動の推進。
- 五月十一日 市塗装研究会の皆さんの奉仕により、3軒の屋根塗装をしていただいた。
- 五月二十二日 地区内福祉関係諸団体育成のため、助成金を贈った。
- 七月二十五日 役員会を開催し、敬老会・地域福祉活動について協議した。
- 九月十六日 恒例の地区敬老会を榎山コミセンで開催した。対象者 一、一一四名 出席者 一六九名
- 式典終了後、築山小学校児童(五十五名)の演技、竹泉会の民謡、宝扇都瑞喜社中の新日本舞踊で賑った。欠席者には、寿ごろく枕を贈呈した。
- 十月一日、共同募金(赤い羽根)運動の推進協力。
- 十一月四日 福祉先進地鷹巣町で現地研修会を実施した。

参加者 七十八名

- 十一月二十七日 七十五才以上のひとり暮らし老人及びねたきり老人百八十五名に石鹸を持参して、安否確認を兼ねた激励訪問を行った。
- 十一月二十八日 秋田市六地区社協交流研修会に出席する。
- 十二月一日、歳末助け合い募金運動の推進。
- 十二月二十五日 母子・父子家庭百四十七名にお歳暮を贈り、激励訪問した。

社協年会費及び各種募金実績

- ◎ 年会費 三万七三〇〇円
 - ◎ 日赤社員増強運動 一七二万八二五〇円
 - ◎ 共同募金(赤い羽根) 二五六万三八〇〇円
 - ◎ 歳末たすけあい募金 五五万七三三〇円
- 以上の募金や募金活動については、各町内の会長さんや民生委員のご協力をいただき、更には皆さんの深いご理解があったことに衷心より感謝致します。

善意のご寄付

(平成十年四月一日 ~ 平成十年十一月三十日)

- ◎ 香典返し
 - ・ 榎山川口境 菊地 ヤス様 五万円 (亡夫 清さん)
 - ・ 南通宮田 富樫 栄一様 十万円 (亡父重次郎さん)
 - ・ 南通築地 高橋 ヤス様 十万円 (亡夫 金治さん)
 - ・ 南通宮田 永井 圭一様 五万円 (亡父初太郎さん)
 - ・ 榎山川口境 佐藤 由松様 二十万円 (亡妻 和子さん)
 - ・ 榎山石塚谷地 小武海西子様 十万円 (亡夫 謹五さん)
- ◎ 篤志
 - ・ 一万円 東海林正隆様 南部公民館まつり
 - ・ 五千元 高桑 博様 吉田喜久次様
 - ・ 榎山地区コミセン 実行委員会様
 - ・ サークル協議会様 広島ふとん店様

合同講演会の開催

地区市民憲章推進協議会と保健推進員会との合同講演会を十一月

十二日、五十六名の参加を得て実施しました。はじめに市の保健婦さんから参加者の血圧測定をして頂き、引き続き介護保険制度について学習をしました。

◆ 編集後記 ◆

◇ 四月に新役員が決まりましたが、新メンバーでの「社福協だより」をお届けいたします。とかく暗い世相が、新聞・テレビで報道される昨今ですが、皆さんで元気を出し合って前向きに生きていくための「社福協だより」でありますようつとめてまいります。

◇ 介護保険制度を契機として福祉についての関心が高まっています。皆様のご意見を是非お寄せくださいますようお願いいたします。

連絡先(事務局)

樋渡 久孝 神田 武

編集委員

加藤 三夫 渡辺 一男
黒崎 寅雄 神田 武
樋渡 久孝

築山地区社福協新役員

顧問	東海林 正 隆			
会 長	高 桑 博			
副 会 長	村上 金 治	渡 辺 一 男	佐 藤 連 治	瀬 川 美 代
監 事	加 藤 三 夫 大 原 由 利 子			
事務局 長	樋 渡 久 孝			
会 計	神 田 武 (事務局次長)			
常任理事	鈴木 監三郎	清 治 清 作	野 尻 滋	松 橋 博 之
	佐 藤 喜一郎	佐々木 洋 吉	妹 尾 克 利	
理 事	松 本 秋 次	朝 倉 満 子	石 塚 二 郎	小 柳 寛
	高 橋 秀 雄	佐 野 正 和	黒 崎 寅 雄	安 藤 浩
	斎 藤 斉	佐々木 ミ エ	菅 原 良 子	菊 地 登 喜 子
	湊 睦 子	岡 田 柳 子	碓 井 則 子	

(理事以上)

築山地区民生児童委員改選 (平成10年12月1日辞令交付)

皆さん、何かご相談がありましたら、下記の方にご連絡下さい。

氏 名	担当区域 (町・字名)	氏 名	担当区域 (町・字名)
村上 金治	石塚町	加藤 三夫	南通亀の町・榑山本町
佐藤喜一郎	愛宕下・牛島東三丁目		南中町
佐々木洋吉	共和町・榑山本町	荒澤 文夫	榑山本町・南中町
	南中町・川口境	安藤 浩	南通宮田・佐竹町
瀬川 美代	南通宮田		寺小路・古川新町
佐々木ミエ	登町・南中町		南新町上丁
樋渡 久孝	太田町	古家 郁子	榑山本町・南新町上丁
野尻 滋	榑山本町・南通みその町		南新町下丁
北條 晃	南通宮田・榑山大元町	田中小夜子	登町・南中町
松橋 博之	南中町	原 香子	金照町・城南町
吉田 孝導	南通宮田	佐々木正次	金照町・城南町
菅原 良子	榑山本町		石塚谷地・愛宕下
湊 睦子	南通宮田・南通築地	菊地登喜子	登町・川口境
宮澤 惟安	南通みその町・南通築地	小野 芳朗	川口境・共和町
	佐竹町	幸野谷静子	築山地区全域 (主任児童委員)
石川 朝子	南通亀の町・佐竹町	佐々木ユリ子	築山地区全域 (主任児童委員)
	南通みその町・南通築地		

会長・事務局長勇退

—長い間本当にご苦労様でした—



前 会 長

東海林 正 隆

長き地域福祉活動への感謝をこめて

年の歳もせまった十二月、中頃高桑会長がわが家にお見えになり福祉活動の大切さと奥深さなど語りながら計画された事業も順調に進んでおられるお話しをうけ、会長始め役員の方々にご苦労さんの言葉を送りながら喜びあいました。私も若き頃二代目会長の長門さんから時代の進歩と発展にともない一番大切なことは福祉の心と奉仕活動の必要性をとかれ、いささか関心をもつようになりました。その後残念ながら長門会長が亡くなり渡辺清助さん竹下チエさん始め有志の方から再三に渡り会長就任を要請され若輩の身をかえりみず、会長職を引き受け退任まで、三十年の長い間地元のみならずのご協力ご鞭撻を頂きながら務めさせていただきました。就任した昭和四十年頃は敬老会や遺族会、赤い羽根募金歳末助け合い運動などでした。その後高度成長にともない地域福祉への理解と奉仕が推進され老人クラブの結成、児童の健全育成、一人暮らしへの慰安訪問更に関係団体への補助や研修会、事務局の強化など今や福祉の「まちづくり」運動となり地域の和と輪が広がりました。平成八年七月、永井市社協会長はじめ平成八年七月、石川市長、永井市社協会長はじめご来賓のご出席を賜り多数の皆さんと共に意義ある創立四十周年式典が開催され共に喜びながら先輩功労者に感謝の意を表すことが出来ました。なによりも幸せと思っております。今後住民の一人として地域社会福祉活動に参画出来すことを有難くもありがとうございます。ここに新たに役員始め地域のみなさんに感謝しつつ今後とも我が築山社協こそ、ますます充実発展されますことを心からお祈りいたしております。



前事務局長

鈴木 監三郎

私が当地区社会福祉協議会事務局長として就任いたしましたから、ちょうど七年の歳月がすぎました。その間、世の中の情勢はいろいろと変化し、特に高齢者は年々増加してまいりました。築山学区では敬老会該当者は毎年三十名から五十名程度増員となっております。それに伴いひとり暮らしの老人も各町内でも多くなりつつあり、これに対処するため福祉活動は益々重要であります。このような時に退任いたしましたことは誠に心苦しい限りではありませんが、新しい時代に新しい人材を必要とします。老いた身がいたずらに席をけがしている場合ではないと信じ、離れることと致しました。私のわがままをお許し下さい。幸い後継者として最も適任な新進気鋭の樋渡氏を得ましたことを心から喜ぶものであります。

福祉活動は、役員・事務局のみでは何ひとつできません。地域住民の協力があるがゆえに、特に地域の身近な相談相手として活動している民生委員・児童委員と地区内七十の町内会長さんおよび福祉協力員の絶大なご協力の賜ものと、感謝にたえません。本誌をかりてひとこと感謝の敬意を表します。

過去の事柄について二、三を掲載します。思い出して戴ければ幸いです。それは平成五年の末に「ふれあいのまちづくり事業」の一環である地域ネットワークづくりを進めたこと、又それと並行して全戸加入・全戸会費制の為の規約の全面改正の実施、その後「ふれあいのまちづくり事業」モデル地域による各種活動と福祉協力員の選定等多忙な日々でありました。平成八年の地区社会福祉協議会創立四十周年記念行事も無事完了致しましたことを、関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成十年度
築山地区敬老会

平成十年九月十六日、恒例の敬老会が榎山コ
ミセンで百六十九名の参加を得て盛会裡に行わ
れた。
はじめに高桑会長のお祝いのご挨拶、ますま
す健康で長生きされますよう激励されました。
続いて市民憲章清治会長より心あたたまるご祝
辞などをいただき、集ったみなさんを代表して



高桑会長の挨拶に聞きいる出席者のみなさん



懇親会のひとこま

老人クラブ連合会佐藤会長長の謝辞があつ
てから楽しい懇親会となりました。
榎山交番佐藤所長の乾杯の音頭で祝
宴、築山小学校児童による演技、竹泉
会の民謡、宝扇都瑞喜社中による新日
本舞踊が披露され、和気あいあい心ゆ
くまで交流を深めました。
また一年生からかわいいお手紙、児
童館の子供達からは、しぼり染めのハ
ンカチが贈られました。
最後に山田信様の万歳三唱で再開を

願って散会しました。
この敬老会開催にあたり、福祉協力員、民生
委員、社協役員のみなさんには大変な協力ご
奉仕をいただき、心から感謝いたします。
また、たくさんの方々からご芳志をいただき、
厚く御礼申し上げます。



築山小児童の竿燈



宝扇都瑞喜社中の新日本舞踊



築山小1年生による歌と踊り

福祉先進地の 現地研修会を実施

社会福祉活動の現地研修会を十一月四日に実施した。研修地は鷹巣町で役員、町内会長、福祉協力を中心に七十八名が参加し、誠に有意義な一日であった。はじめに、鷹巣町長の福祉の町づくりについてご講演をいただいた。



ウェルフェアテクノハウス

た。その中で、さまざまな福祉ニーズに対応した住民参加によるワーキンググループが、それぞれのテーマで検討を加え、その検討結果を町政に反映させていくとのことであった。

続いて地域福祉センター事務局長から、センターが実施しているさまざまな福祉サービスや利用状況、支援体制の概要について説明



保健センターでの学習風景



町長のお話しを熱心に聴く参加者

を受けた。その後、三班に別れ保健センター、地域福祉センター、ウェルフェアテクノハウスを見学した。特にこのウェルフェアテクノハウスは、日本式住宅の良さを生かした全国に三ある研究施設の一つで、三ある研究施設の一つで、介護する方される方の双方にとって快適で負担の少ない住宅・福祉機器を備えた施設として建築されたものです。

平成10年度 福祉功労者表彰記録

おめでとうございます。
心よりお祝いたします。

全国民協会長表彰

(民生委員)

村上 金治 (栖山石塚町)

知事表彰

(民生委員)

鈴木恵美子 (南通宮田)

市長表彰

(自治振興)

高桑 博 (南通みその町)

加藤金四郎 (栖山愛宕下)

朝倉 満子 (栖山本町)

(市政協力員)

岩見 富治 (栖山登町)

高桑 博 (南通みその町)

松本 秋次 (栖山愛宕下)

佐野 正和 (栖山南中町)

草薙 武雄 (南通築地)

渡辺 昭 (栖山川口境)

市社協会長表彰

(福祉功労)

鈴木監三郎 (栖山大元町)

市民憲章会長表彰

(住民活動)

清治 清作 (栖山愛宕下)

交通安全協会栖山支部

緑化推進会長表彰

(緑化功労)

渡辺 一男 (栖山石塚町)

鈴木孝司郎 (栖山大元町)

高津マツエ (栖山登町)